

角館・田沢湖・西木地域審議会合同研修会

角館、田沢湖、西木3地区の地域審議会の合同研修会が10月13日、西木温泉ふれあいプラザクリオンを会場に開催されました。

研修会では、仙北市総合計画について説明や意見交換が行われたほか、土屋朋子氏を講師に招いて講演会が行われました。

スポーツ・レジャープロデューサーの土屋氏は、世界的な自転車レース「ツール・ド・フランス」で自転車の虜となり、「本物のロード・レーサーに乗ってもらい」試み「女性のための田沢湖ツーリング」を毎年10回程度主宰、田沢湖に数ヶ月滞在しています。

「サイクルツーリングから見てくる仙北市の魅力」と題した講演では、「自転車で、仙北市内の小さい道はたくさん走ったので、市民のみなさんより道に詳しいかもしれない」という土屋氏は、「仙北市は、田沢湖の温泉、西木の農村や角館の武家屋敷といった3つのエリアが見事にジョイントしたとても魅力ある地域」と仙北市の魅力を話すとともに、「観光は“ご縁”による人と人とのふれあい。“ご縁”をつくるために何をしたらいいのか。一步を踏み出すことが大切」と話していました。



自転車の魅力や近年注目されるエコツアーについても話す土屋氏



芥川賞作家 玄侑氏

芥川賞作家 玄侑宗久氏を迎え 第46回文化講演会

読書の秋恒例の文化講演会(主催・角館図書館後援会)が10月16日、角館榊細工伝承館を会場に開催され約200人が参加しました。

この文化講演会は、芥川賞作家で、新潮社記念文学館名誉館長の高井有一氏の紹介で、毎年著名な作家等を招いて開催しているもので、46回目となる今年は生まれ故郷の福島県三春町のお寺で副住職を務め、2001年に「中陰の花」で芥川賞を受賞された玄侑宗久氏を講師に迎え、「流れない時間」と題した講演が行われました。

玄侑氏は、「時の流れは、無数の瞬間の記憶をつなげたもので、人の脳の中でつくられる。人の記憶は変化するもので、自分の人生をどうまとめるかが、その人の時間の流れに関わってくる」と独特な時間論を示し、「坐禅やお経を読むときは何も考えない。すると、時間も流れないもの。老化も気のせいであり、年相応など考えず平均寿命も気にしないと長生きできる。みんなで長生きしましょう」と締めくくりました。

つくろう・あそぼう・みんなともだち ちびっ子県民交流会

10月14日、神代市民体育館を会場に「ちびっ子県民交流会」が開催されました。

これは、保育園、幼稚園の垣根を越えて、心豊かで元気な子どもの育成をめざすとともに、人間形成の基礎を培う幼児教育の重要性を地域のみなさんに理解してもらうことを目的に秋田県教育委員会が主催し、県内13会場で開催されるものです。

交流会では、市内の保育園や幼稚園の園児が組体操やダンス、踊りなどをステージで発表。交流タイムでは親子による「運動遊び」が行われ、子どもたちの歓声が響く中、親子のふれあいを楽しんでいました。



元気な踊りを披露する園児のみなさん